

さかいまち 議会だより

No. 202

令和4年
11月1日発行

永岡桂子 文部科学大臣へ 要望書を提出してまいりました!!



令和4年9月22日 文部科学省にて「スポーツを核としたまちづくり」等の取組についての要望書を提出

目次

- ◆第3回定例会議決事項 P.2~P.4
- ◆一般質問 P.5~P.7
- ◆議員の選任及び繰上補充・第4回臨時会議決事項
..... P.7
- ◆議会活動 P.8



(仮称)境町ブランド研究開発拠点施設及び
(仮称)境町地域産業研究開発拠点施設起工式

令和4年第3回定例会

9月2日～9月9日（8日間の会期）

全議案・原案可決

令和4年第3回定例会におきましては、一般質問の一人当たりの持ち時間を通常の最大60分で実施し、議場傍聴につきましても、感染予防対策をお願いしたうえで、人数を先着25名に制限させていただき、実施いたしました。

住民の皆様には、ご理解ご協力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。



決算特別委員会を進行する
木村 信一 委員長

決算特別委員会報告

9月2日開会初日、本会議に提案された令和3年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月6日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月9日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月26日(木)・8月25日(木)に、令和3年度境町一般会計及び特別会計7件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果について山本監査委員より次のとおり報告がありました。

○一般会計

歳入財源は、前年度より交付税収入等が増額となり、新型コロナウイルスワクチン接種対策として活用した負担金補助金、地方創生拠点整備交付金等の増収により、これらの財源を活用した施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、これまでも実施しているように、国・県補助金基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が伺え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減と

なったものの、保険者努力支援金等の獲得により、順調に業務が遂行出来ていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行出来ていることが確認できる。

下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから、処理施設の最適整備構想化計画に基づき、効率的な整備に努めていきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、当期純利益は過去20年で最大となるが、反面老朽化による修繕費等の増加が懸念されることから計画的な修繕に務められた。

今後は、人口減少に伴う収益減が予想されるなか、計画的に設備投資を行い、安心・安全に利用できる水道水の安定供給を図られるよう要望する。

令和3年度 各種会計決算状況

一 般 会 計

歳
入

町税	36億495万6,379円
地方譲与税	1億3,211万7,000円
利子割交付金	182万2,000円
配当割交付金	1,740万7,000円
株式等譲渡所得割交付金	2,074万3,000円
法人事業税交付金	4,609万7,000円
地方消費税交付金	5億8,233万3,000円
ゴルフ場利用税交付金	327万7,120円
環境性能割交付金	1,141万6,000円
地方特例交付金	4,737万3,000円
地方交付税	19億9,654万6,000円
交通安全対策特別交付金	285万5,000円
分担金及び負担金	1億4,668万578円
使用料及び手数料	2,879万2,778円
国庫支出金	29億9,921万5,973円
県支出金	7億5,810万5,272円
財産収入	1,335万3,050円
寄付金	51億1,249万3,775円
繰入金	49億9,395万4,969円
繰越金	5億4,144万7,320円
諸収入	1億1,488万2,352円
町債	12億511万7,000円
計	223億8,098万5,566円

歳
出

議会費	9,961万3,137円
総務費	58億2,357万9,122円
民生費	38億8,942万6,762円
衛生費	9億9,722万5,065円
労働費	2,084万5,077円
農林水産業費	4億1,411万332円
商工費	2億7,551万4,448円
土木費	15億599万4,657円
消防費	4億7,585万4,157円
教育費	11億5,674万2,273円
災害復旧費	1,430万7,700円
公債費	9億8,319万2,046円
諸支支出金	53億7,972万9,978円
予備費	0円
計	210億3,613万4,754円

特 別 会 計

坂東市外2か町公平委員会

歳入	122万9,273円
歳出	27万824円

住宅事業

歳入	1億8,966万2,418円
歳出	1億7,933万814円

国民健康保険事業

歳入	27億5,175万2,078円
歳出	27億374万6,647円

後期高齢者医療事業

歳入	4億9,410万9,316円
歳出	4億9,205万7,026円

介護保険事業

歳入	20億9,568万6,378円
歳出	19億7,571万656円

公共下水道事業

歳入	7億8,633万9,391円
歳出	7億7,733万5,721円

農業集落排水事業

歳入	2億4,209万8,302円
歳出	2億3,009万7,400円

水道事業

収益の支出	5億4,602万4,907円
資本の支出	6,762万4,209円

補正予算関係

令和4年度境町各種会計補正予算

会 計		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第56号)		161億7,894万円	26億661万円	187億8,555万円
一般会計(議案第64号)		187億8,555万円	3,258万円	188億1,813万円
特別会計	住宅事業(議案第57号)	3億7,850万円	1億5,953万円	5億3,803万円
	国民健康保険事業(議案第58号)	27億4,639万円	4,817万円	27億9,456万円
	介護保険事業(議案第59号)	19億4,592万円	1億2,008万円	20億6,600万円
	公共下水道事業(議案第60号)	7億8,101万円	1,458万円	7億9,559万円
	農業集落排水事業(議案第61号)	2億2,914万円	350万円	2億3,264万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
報告第6号	令和3年度境町財政健全化判断比率の報告について	—	—
報告第7号	令和3年度境町公営企業資金不足比率の報告について	—	—
報告第8号	令和3年度境町継続費精算報告について	—	—
議案第53号	境町議会議員及び境町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案について	令和4年9月9日	原案可決
議案第54号	境町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案について	令和4年9月9日	原案可決
議案第55号	境町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について	令和4年9月9日	原案可決
議案第62号	財産の取得について	令和4年9月2日	即日 原案可決
議案第63号	町道路線の廃止について	令和4年9月9日	原案可決
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	令和4年9月9日	採択
発議第2号	境町議会決算特別委員会の設置について	令和4年9月2日	即日 原案可決
発委第1号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書案	令和4年9月9日	即日 原案可決

人事案件



境町大字染谷
齊藤 政雄 氏

○境町監査委員の選任について議会の同意を求められ、全会一致で即日原案同意されました。



境町大字塚崎
齊藤 恭子 氏



境町大字内門
渡邊 弘秋 氏

○人権擁護委員の推薦について議会の意見を求められ、全会一致で適任と認められました。

一般質問

1番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1) 消費者センターの相談窓口について
- (2) 男性用トイレにサニタリーボックスの設置について

3番 議席1番 佐怒賀 康輔 議員

- (1) 姉妹都市等との今後の取組について
- (2) さかエール!!Payについて

2番 議席2番 染谷 直人 議員

- (1) 生産資材高騰等にかかる農家支援について

4番 議席3番 枝 史子 議員

- (1) 「5歳児健診等」について

4人の議員が登壇しました

議席10番

田山 文雄 議員



消費者センターの 相談窓口について

Q 住民からの身近な相談に
えられるためにも、消費者相談窓
口の更なる充実が必要であると思
うが、当町の取組について。

A 境町では、今まで毎月第4
木曜日の月1回であったが、7月
から県の相談員のリモート相談で
月曜から金曜まで毎日相談が受け
られる体制ができた。9月からは
県から相談員を派遣してもらい第
2、第4木曜日は対面での相談が
出来るようにもなった。今後は、
県西地域の3町で1人相談員を雇
うなど近隣とも相談して出来ない
か検討していきたい。
(町長・秘書公室長・参事兼まち
づくり推進課長)

男性用トイレにサニタリー ボックスの設置について

Q 男性用トイレの個室に、サ
ニタリーボックス(汚物入れ)を
設置する動きが各地の自治体や商
業施設で広がっているが、当町の
取組について。

A 男性用トイレにサニタリー
ボックスを設置する動きが全国的
に進んでいるが、境町では病院を
始め商業施設にも今まで要望もな
く、設置がされていない。今後は、
医療機関、医師会、議会とも相談
して町全体として共有して研究し
ながら検討していきたい。
(町長・総務部長)

議席2番

染谷 直人 議員



生産資材高騰等にかかる 農家支援について

Q 現在、当町が実施している
農業振興について伺いたい。

A 町としては、「儲かる農業」
を目指し、農産品のブランド化お
よび高付加価値化に取り組んでき
たところ。具体的には、麗澤大学
と提携した猿島茶のブランド化に
よりリッツカールトン(ホテル)
で取り扱われたり、舞台ファーム
と連携し「パックスライス」を生産
し、ふるさと納税に出品し好評を
得ていることにより、町が生産者
から通常のコメ価格の倍での買い
上げを実現したりしている。

また、葉タバコ生産者の廃作に
伴い、3・4haにサツマイモを作
付けいただき、さかいまちづくり
公社が全量買い上げる等、農家の
安定収入となることに加え、ふる
さと納税でも人気のある干し芋の
産地化を目指したい。
学校給食の材料の地産地消を推
進し、年平均50%の地場産食品を使
用しており、使用率は県下5位であ
ることや農業用ビニールの廃棄64
トンに際しては、近隣市と同額とな
るよう補助を行う等、農家の支援を
引き続き行って参りたい。

(建設農政部長)

Q 国による緊急対策（肥料価格高騰対策）が措置されたものの、農家を取り巻く環境は依然、厳しい状況であり、自治体が地方創生臨時交付金を活用し独自に農家支援を行う事例も見受けられる。政府は地方創生臨時交付金の増額を検討しているとのことであるが、今後、同交付金が増額された場合の当町の活用の考え方を伺いたい。

A 今後の地方創生臨時交付金に関しては、情報収集を行いつつ、先進事例や県内市町村の動向を鑑み、農業経営の影響緩和について、今後検討して参りたい。ただし、1事業者だけではなく、影響を受けるすべての業種を対象に必要な支援を行えるようにしたい。その間の緊急対策として、「さかエール!!Pay」を商工業者および農業事業者を対象に、上限20万円（プレミアム率25%）を販売したい。

（春先の肥料・資材高騰等の懸念もあるとの再質問に対し）当町は、ふるさと納税が好調であるため、こういった臨時交付金がなくとも、議会と相談し、町民の皆さん全員がふるさと納税の恩恵を受けられるような支援を行い、境町に住んでよかった、境町だったか

ら支援を受けられたという好循環を作って参りたい。

（町長・建設農政部長）

議席1番

佐怒賀 康輔 議員



姉妹都市等との今後の取組について

Q ホノルル市、マリキナ市、アルゼンチン共和国との今後の交流についてどのような予定をしているのか。

A ホノルル市とはビジネス面においても物産品のやりとり等を検討の他、境町ウィークの再開、ホームステイ交流事業などを予定している。

マリキナ市には消防車、救急車を寄贈したが、今後も災害に対す

るサポートを行うと共に、ALTの先生以外にも雇用面で両者のメリットになるような取り組みも検討したい。

アルゼンチン共和国とは文化交流、スポーツ交流に加えて、自治体と国との交流ではなく自治体同士での交流ができないかを検討。

（町長・秘書公室長・企画部長・危機管理部長）

さかエール!!Payについて

Q 現在の販売額及び今後の展開についてどのような考えか。

A 現時点で約5千万円分を販売済みであり、当初の見立て通り販売額は1億円程度に着地する予想。今回はマイナンバーとの紐付けもあり町民限定での販売となったが、今後は需要などを加味しつつ外部からの訪問客向けにも販路を広げていくことを検討中。

（町長・秘書公室長）

議席3番

枝 史子 議員



「5歳児健診等」について

Q 3歳児健診から就学時健診までの空白期間を埋める「5歳児健診」が、全国的に広まっている。この5歳児健診により、定期的な健康観察ができる他、いわゆる発達障害の早期発見が期待されることから、この健診の実施は、子どもたちの健やかな育ちにつながると思える。境町では実施されていないが、これについて町の見解を問う。

A 現在、5歳児健診を県内で実施しているのは3自治体。他に、5歳児相談会や訪問相談等を実施しているところは4自治体ある。

猿島郡医師会からは「ほとんどの子どもが幼稚園・保育園に通っている現状をみると、保健師や心理士による訪問発達相談を利用しながら、幼・保と連携し、必要な支援につなげていけば良いのではないか。」との見解もあったが、いわゆる発達障害の早期発見だけでなく、子どもたちの生活環境の把握といった点も考えると、5歳児健診は有意義であると認識している。

ただ、実施のしやすさを鑑みると、「健診」まではいかなくとも、「相談会」という場を年に数回設けて来ていただくという形も、検討に値するのではないかと考えている。

いずれにせよ、「やらない」というのではなく、「境町にとって、どのような方策なら実際にできて続けられるか」、そして、どうすれば親御さんたちが安心して暮らしていけるか、子どもたちが救われるかを考え、しっかりと調査研究をしていきたい。

(町長・町民生活部長)

議会運営委員の選任

○議会運営委員に欠員が生じたので、染谷直人議員が後任の委員に選任されました。



染谷 直人 議員

境町議会議員の線上補充

○令和3年6月6日執行の境町議会議員一般選挙において、公職選挙法第95条第2項の規定により、当選人とならなかった飯田進氏が、公職選挙法第112条第5項の規定により、令和4年9月15日の選挙会において当選人と定められ、令和4年9月15日から境町議会議員に繰上補充されましたのでお知らせいたします。

なお、常任委員会については、教育福祉常任委員会の所属となります。



飯田 進 議員

令和4年第4回臨時会

8月4日（1日間の会期）

補正予算関係

会計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計（議案第51号）	145億8,491万円	15億9,403万円	161億7,894万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
議案第50号	境町世界大会等誘致推進基金条例の制定について	令和4年8月4日	即日原案可決
議案第52号	工事請負契約の締結について	令和4年8月4日	即日原案可決

議会活動

マリキナ市救急車寄贈式

8月8日から8月10日に、境町と姉妹都市であるフィリピン共和国マリキナ市において、救急車の寄贈式が執り行われました。

平成31年には消防自動車を寄贈しており、今回も緊急時に医療現場から病院施設への患者搬送等に活用していただくため、約三年ぶりに訪問し、寄贈させていただきました。今後、更なる友好関係の深化にむけ尽力してまいります。



境町施設の起工式及び地鎮祭

来年4月の開業に向け、(仮称)医療施設工事起工式【小児専門病院】が8月30日に挙行されました。

また9月28日には、定住促進事業として町が進めているPFI方式の第5期境地区定住促進住宅の起工式が挙行され、9月29日には、(仮称)境町ブランド研究開発拠点施設及び(仮称)境町地域産業研究開発拠点施設の起工式、並びに(仮称)DPL境古河新築工事地鎮祭がそれぞれ執り行われました。

議会といたしましても、雇用創出に繋がる事業の推進に努めてまいります。



(仮称)医療施設工事起工式



(仮称)DPL 境古河新築工事地鎮祭

全国町村議会広報研修会

9月20日に東京都シエーンバツハ・サポーにおいて、全国町村議会議長会主催による「令和4年度町村議会広報研修会」が開催され、全国の議会広報編集委員が参加しました。

広報編集委員会では、これからも住民の皆様には議会活動への関心を持っていただくため、親しみやすい広報誌の制作に取り組んでまいります。

境町議会議員の訃報

須藤信吉議員(76歳)が、去る8月28日にご逝去されました。

須藤信吉議員は境町議会議員として、平成17年7月3日から17年間の永きにわたり、副議長、監査委員、教育福祉常任委員長、総務建設農政常任委員長、財団法人開発公社理事、土地開発公社理事を歴任し、境町の発展に寄与されました。あらためて生前のご功績に対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表します。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 枝 史子 委員 渡邊 昇

副委員長 染谷 直人 委員 青木 輝明

〒306-0495 境町391-1
TEL.0280-81-1316 FAX.0280-87-5873
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>